

中部教育学会 第 67 回大会プログラム

2018（平成 30）年 6 月 30 日（土）

会場：名古屋市立大学 1 号館（滝子キャンパス）

【大会の日程】

9:30	受付開始
10:00	自由研究発表（全 6 分科会/1 号館 2・3 階）
12:30	
12:30	昼食/理事会（205 教室）/休憩
13:30	総会（203 教室）
14:00	
14:20	公開シンポジウム「保育実践から読み解く保育者の専門性」
16:45	（201 教室）
17:00	懇親会（はにかむ食堂）
19:00	

お問い合わせ

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑 1 名古屋市立大学
中部教育学会第 67 回大会実行委員会事務局（事務局長：上田敏丈）
TEL/FAX 052-872-5160（直通） E-mail ueda@hum.nagoya-cu.ac.jp

大会参加要領

1. 会場

- ・会場は名古屋市立大学（滝子キャンパス）1号館です。（次頁の「会場配置図」および最終頁の「キャンパスマップ」をご参照ください）。
- ・会場の最寄り駅は名古屋市営地下鉄桜通線桜山駅です。5番出口より徒歩12分。
市バスの場合は、金山駅 金山7番のりばより金山11・12・16「滝子」下車
金山8番のりばより金山14(桜山経由)「滝子」下車



2. 受付

- ・受付開始時間：9:30 より
- ・受付場所：1F エントランス
- ・受付にてネームプレートをお渡しいたしますのでご記名の上お付けください。

3. 会費

- ・大会参加費：1,000円（会員も当日会員も共に参加費は同額です。）
- ・懇親会参加費：3,500円（事前申し込みの制度をとっていませんので当日奮ってお申し込みください。）

4. 自由研究発表

- ・時間：個人発表－発表20分、質疑応答5分 共同発表－発表30分、質疑応答10分
※共同研究であっても口頭発表者がお1人の場合は「個人発表」となります。
- ・会場：次頁の「会場配置図」をご覧ください。

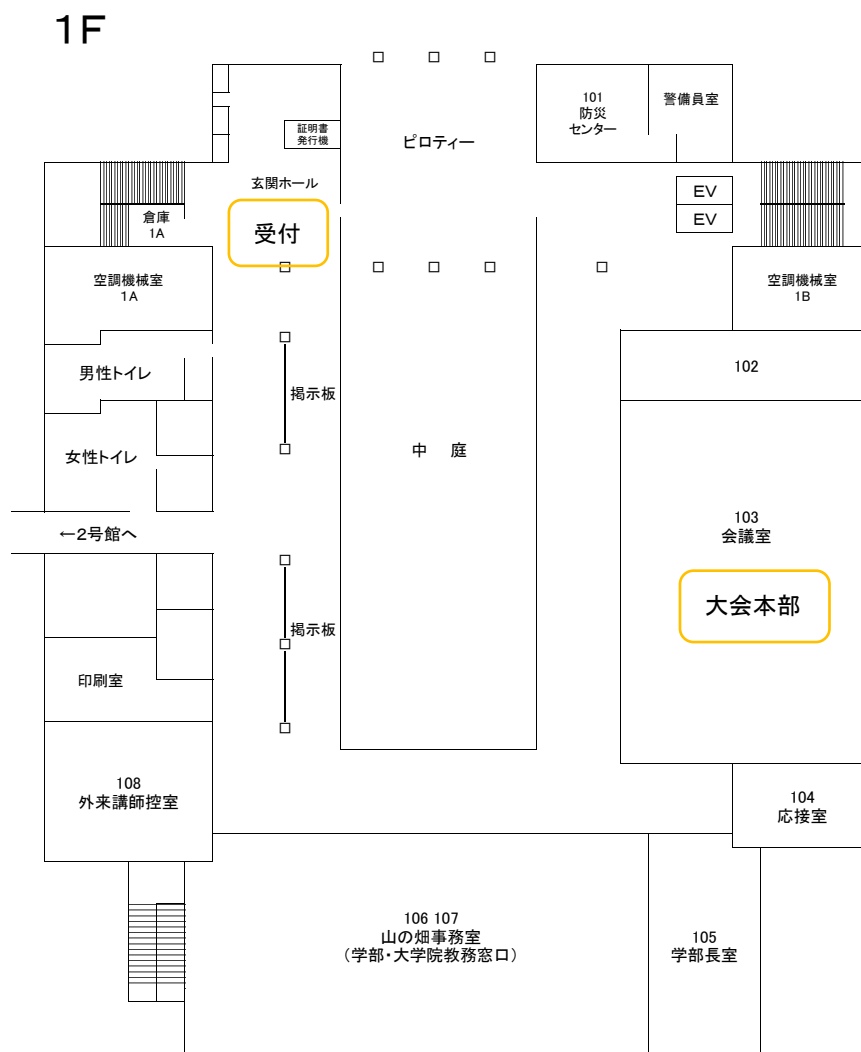
5. 昼食

- ・学内の食堂は営業しておりませんので、近隣の飲食店をご利用ください。

6. 懇親会

- ・はにかむ食堂（桜山キャンパス ※予定）において17:00より行ないます。

会場配置図



自由研究発表

〔第1分科会〕 202 教室

〔第3分科会〕 204 教室

〔第5分科会〕 310 教室

〔第2分科会〕 203 教室

〔第4分科会〕 206 教室

〔第6分科会〕 309 教室

〔理事会〕 205 教室

〔総会〕 203 教室

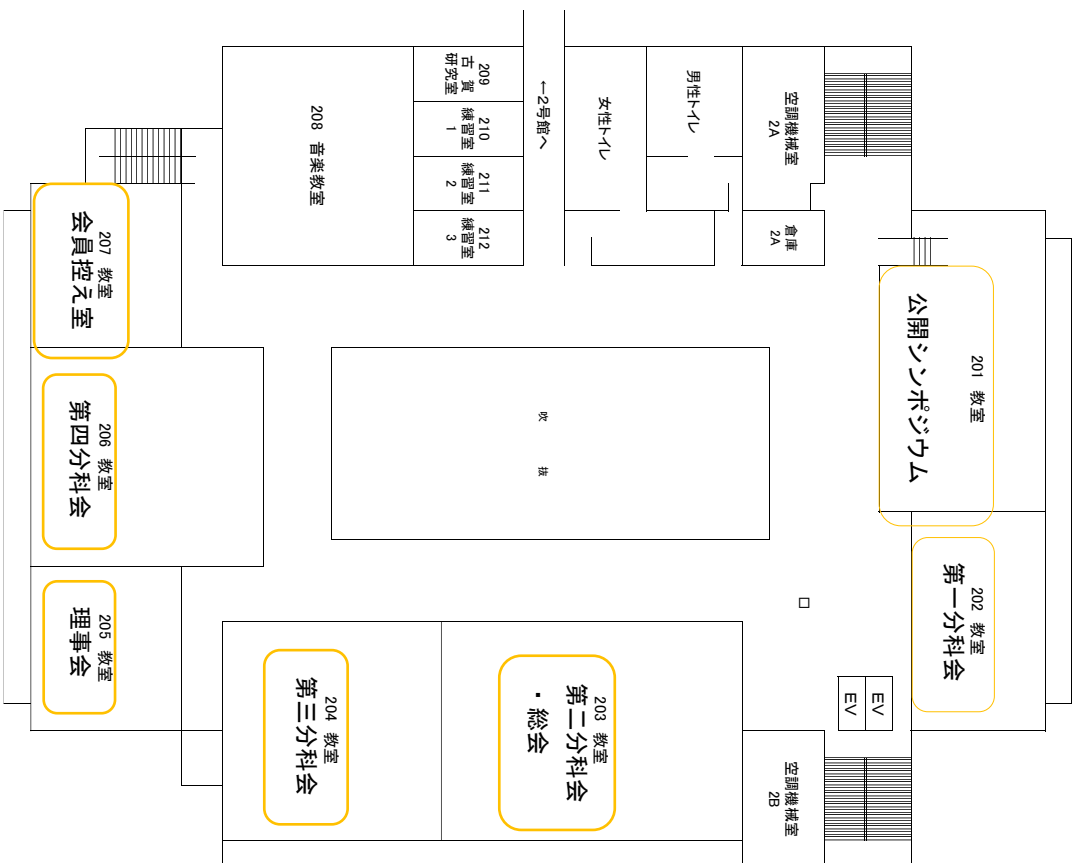
〔公開シンポジウム〕 201 教室

〔懇親会〕 はにかむ食堂 (桜山キャンパス ※予定)

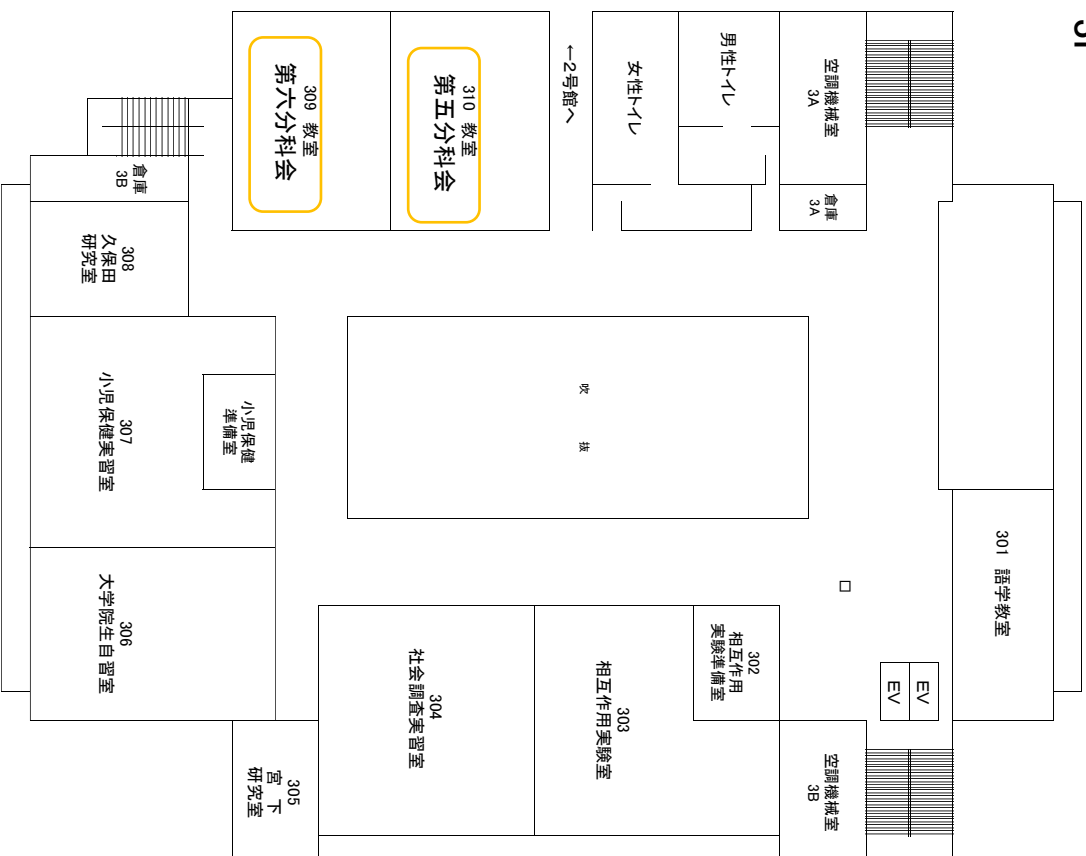
※会員控え室： 207 教室

※大会本部： 1F 会議室

2F



3F



<午前の部> 10:00~12:30 自由研究発表

【第1分科会】(202 教室)

司会：石川英志(岐阜大学)・安達仁美(信州大学)

- ① 10:00~10:40 小学生及び未就学児を対象としたプログラミング教育の実践報告
○堀 和恵(愛知教育大学・非) ○今井 昌彦(浜松学院大学短期大学部)
○牧野 純也(名古屋商科大学・非) 高野 盛光(愛知産業大学短期大学)
- ② 10:40~11:20 ボードゲームを取り入れた教育実践
○高野 盛光(愛知産業大学短期大学) 首藤 貴子(愛知産業大学短期大学)
○今井 昌彦(浜松学院大学短期大学部) 牧野 純也(名古屋商科大学・非)
- ③ 11:20~12:00 教育現場(保育含む)における“非認知能力”の実践研究Ⅱ
○今井 昌彦(浜松学院大学短期大学部) ○牧野 純也(名古屋商科大学・非)
高野 盛光(愛知産業大学短期大学) 首藤 貴子(愛知産業大学短期大学)
- 12:00~12:25 全体討論

【第2分科会】(203 教室)

司会：高橋正教(所属なし)・浅野秀重(金沢大学)

- ① 10:00~10:25 福井医療大学における養護教諭養成の取組み
森 透(福井医療大学)
- ② 10:25~10:50 改正保育者養成課程で求められる教授内容の検討
—子どもの保健周辺科目を中心に—
梶 美保(皇學館大学)
- ③ 10:50~11:15 少人数クラスによる実習日誌の指導の実際と成果
青山 佳代(愛知県江南短期大学)
- ④ 11:15~11:55 音楽教員を目指す学生を対象としたパフォーマンス評価に関する研究
○服部 慶子(静岡大学) ○長谷川 哲也(岐阜大学)
- 11:55~12:20 全体討論

【第3分科会】（204 教室）

司会：藤原直子（相山女学園大学）・江頭智宏（名古屋大学）

- ① 10:00～10:25 野村芳兵衛の「協働自治」論における信仰について
北島 信子（桜花学園大学）
- ② 10:25～10:50 承認からの逃走—馬祖禅から考える教育思想
鬼頭 孝佳（名古屋大学・大学院生）
- ③ 10:50～11:15 ヴィゴツキーの発達論と生活綴方教育
河内 照治（元公立小学校教員）
- ④ 11:15～11:40 ネットいじめ言説の変化
—新聞記事の計量テキスト分析から—
田川 隆博（中部大学）
- ⑤ 11:40～11:55 サマーヒルスクールは何故つぶされなかったのか？
—英国のナショナル・カリキュラムとフリースクール思想の葛藤—
加藤 潤（愛知大学）
- 11:55～12:25 全体討論

【第4分科会】（206 教室）

司会：足立淳（朝日大学）・勝浦真仁（桜花学園大学）

- ① 10:00～10:25 保育環境への気づきを目指した実習記録の試み
—未来の保育者と作る実習の在り方—
○本郷 彩乃（寺子屋大の木） 上村 晶（桜花学園大学）
牧野 彰賢（ほうりん福祉会）
- ② 10:25～10:50 保幼小接続期における幼児の記録の在り方に関する研究
—要領・指針の改訂（改定）を踏まえた要録の改変に着目して—
上村 晶（桜花学園大学）
- ③ 10:50～11:15 もりのようちえんにおける幼児の育ちに関する研究
○渡辺 玲（ながら幼稚園） 上田 敏丈（名古屋市立大学）
- ④ 11:15～11:40 一時預かり保育における保育者の職務満足感に関する研究
加藤 望（愛知みずほ短期大学）
- ⑤ 11:40～12:05 手づくり「科学絵本」の読み聞かせによる教育的効果（3）
橋本 美彦（中部大学）
- 12:05～12:30 全体討論

【第5分科会】(310教室)

司会：竹川慎哉(愛知教育大学)・石井拓児(名古屋大学)

- ① 10:00～10:25 何が中学校教員を部活動に関わらせているのか
—学校組織の多層性に着目して—
○加藤 一晃(名古屋大学・大学院生) 野村 駿(名古屋大学・大学院生)
上地 香杜(名古屋大学・大学院生) 太田 知彩(名古屋大学・大学院生)
内田 良(名古屋大学)
- ② 10:25～10:50 教員の年代別多忙化メカニズムに関する一考察
—中学校を対象とした質問紙調査から—
○野村 駿(名古屋大学・大学院生) 上地 香杜(名古屋大学・大学院生)
加藤 一晃(名古屋大学・大学院生) 太田 知彩(名古屋大学・大学院生)
内田 良(名古屋大学)
- ③ 10:50～11:15 中学校教員の働き方に関する意識の男女間差異
—質問紙調査をもとにした基礎分析—
○上地 香杜(名古屋大学・大学院生) 加藤 一晃(名古屋大学・大学院生)
野村 駿(名古屋大学・大学院生) 太田 知彩(名古屋大学・大学院生)
内田 良(名古屋大学)
- ④ 11:15～11:40 静岡県における教師の働き方に関する考察
—A市におけるアンケート調査の分析から—
○高林 真衣(静岡大学・大学院生) 藤井 基貴(静岡大学)
- ⑤ 11:40～12:05 教師の「熟練性」の研究
—目標構造の多層化の観点から—
○森脇 健夫(三重大学) 康 鳳麗(鈴鹿医療科学大学)
大西 宏明(三重大学・大学院生)
- 12:05～12:30 全体討論

【第6分科会】(309教室)

司会：坂本将暢(名古屋大学)・川口洋誉(愛知工業大学)

- ① 10:00～10:25 外国人児童生徒の学習支援
—愛知県と米国ミシガン州の事例—
加藤 益代(元小学校教員)
- ② 10:25～10:50 改訂学習指導要領の教育課程経営論的検討
西村 健太郎(名古屋大学・大学院生)
- ③ 10:50～11:15 留学を肯定するまなざしの変容
—『留学ジャーナル』の言説分析から—
太田 知彩(名古屋大学・大学院生)
- ④ 11:15～11:40 小中学校の英語入門期における speaking の指導
～CAN-DO リストを用いた授業実践Ⅱ～
○加藤 裕明(あま市立甚目寺中学校) 鈴木 真実(あま市立甚目寺中学校)
- 11:40～12:05 全体討論

＜午後の部＞ 14：20～16：30

公開シンポジウム

(1号館2階 201教室)

保育実践から読み解く保育者の専門性

趣 旨

近年、乳幼児期を対象とした保育学に対して注目されている。きっかけとなったのは、OECDによるStarting Strongの刊行によって、乳幼児期の教育の質の重要性が喧伝され、またノーベル経済学賞のヘックマン(J. J. Heckman)が乳幼児期の教育への投資効果が高いこと、また、乳幼児期に非認知能力を育てることが肝要であることを述べたことによる。

また、日本経済の中で、女性の就労率を向上させる阻害要因と見なされている「待機児童」対策の必要性と同時に、保育業界の人手不足のことなども含め、様々にメディアでとりあげられている。

このような社会状況の中で、乳幼児期の保育を行う保育者の専門性はどこにあるのかを本シンポジウムで提言したい。対人援助職である保育者の専門性は、眼前の乳幼児を前に、その子ひとり一人の育ちを捉え、関わり、その関わりを振り返り、育ちを理解するというサイクルの中で、蓄積される実践知である。保育者の専門性とは、単にピアノが弾ける、手遊びを知っているといった知識・技術ではなく、それらを総合的に活用する実践の中に埋め込まれているものであろう。

よって、本シンポジウムでは、幼稚園、保育園現場で働く保育者3名に、日々の保育実践を報告して頂き、それを踏まえて中坪史典氏(広島大学)からの講演とコメントを受け、保育実践に埋め込まれた保育者の専門性を読み解く試みを行いたい。

シンポジスト

- 官部咲(大野クローバー幼稚園)
- 大野汐里・福田三希(ひまわり幼稚園)
- 坂本将取(名古屋市大野保育園)

コメント

- 中坪史典(広島大学)

博士(教育学)。広島大学助手、琉球大学助教授、明星大学助教授を経て、現在、広島大学大学院教育学研究科 准教授。保育実践のフィールドワークを中心に、保育者の専門性の探究、園内研修のデザイン、子どもの遊びや学びに関する研究を行う。

主要著作：『質的アプローチで拓く「協働型」園内研修をデザインする』(ミネルヴァ書房、2018)、『保育実践の中にある保育者の専門性へのアプローチ』(ミネルヴァ書房、2018)ほか多数。

司 会

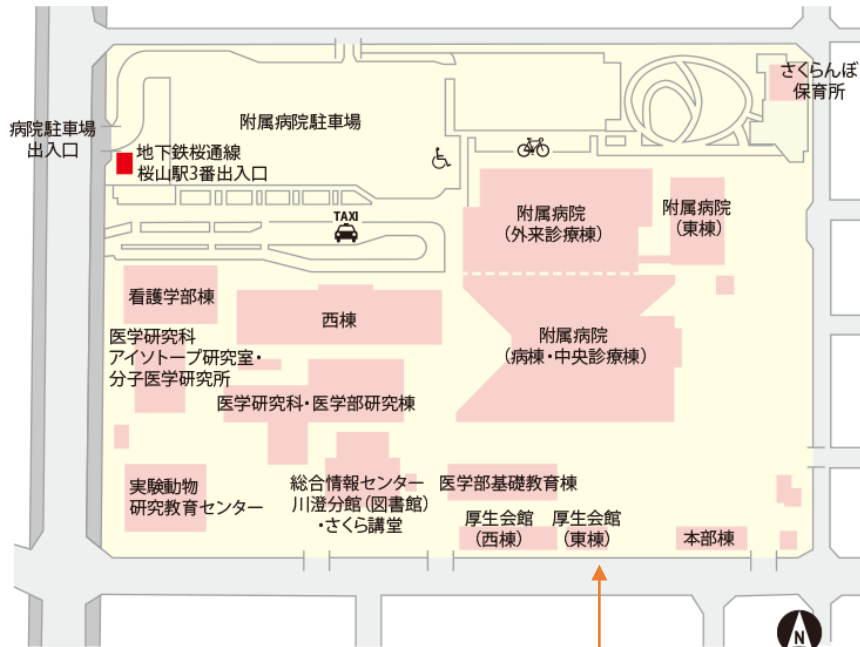
上田敏丈(名古屋市立大学)

後援：中部地区幼児教育研究会

桜山（川澄）キャンパス



桜通線「桜山」駅下車3番出口よりすぐ



懇親会会場

滝子（山の畑）キャンパスマップ



